

# 政府専用機

Fly Across The World  
- Governmental Aircraft of Japan -



特別航空輸送隊  
**SPECIAL AIRLIFT GROUP**  
**SINCE 1993**



昭和62年、政府は、国際社会における我が国の果たすべき役割に鑑み、国際化の一層の発展に寄与するため、政府専用機としてボーイング747-400型機2機の導入を決定しました。

平成3年、総理府（現内閣府）は、2機のボーイング747-400型機を受領しました。翌年2機は、防衛庁（現防衛省）に所属替えされ、航空自衛隊は、千歳基地に臨時特別航空輸送隊を編成しました。

平成5年6月、特別航空輸送隊が正式に編成され、令和4年末までに訪問した国は101か国に及びます。

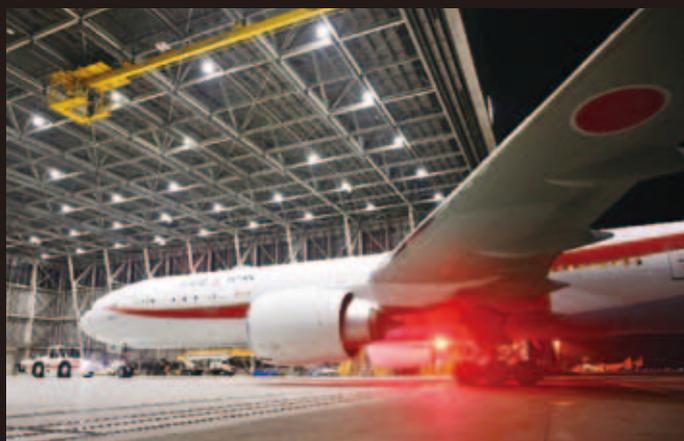
平成26年8月、「ボーイング747-400」の後継機として、「ボーイング777-300ER」の導入が決定され、平成30年8月に1号機を、12月に2号機を受領しました。そして、約半年間の運用試験等を経て平成31年4月から「ボーイング777-300ER」による運用を開始しました。



# 特別航空輸送隊の歴史

HISTORIES

昭和62年	政府専用機導入決定
平成 3年 9月	747-400 1号機受領
平成 3年 11月	747-400 2号機受領
平成 4年 4月	臨時特別航空輸送隊編成
平成 5年 2月	任務初運航
平成 5年 4月	内閣総理大臣初運航
平成 5年 6月	特別航空輸送隊新編
平成 5年 9月	天皇皇后両陛下初運航
平成 14年 5月	任務運航100回達成
平成 15年 3月	国際平和協力業務初運航
平成 16年 1月	イラク人道復興支援初運航
平成 17年 10月	国際緊急援助活動初運航
平成 20年 11月	任務運航200回達成
平成 25年 1月	在外邦人等輸送初運航
平成 27年 10月	任務運航300回達成
平成 30年 8月	777-300ER 1号機受領
平成 30年 12月	777-300ER 2号機受領
平成 31年 3月	747-400 運用終了
平成 31年 4月	777-300ER 初任務運航

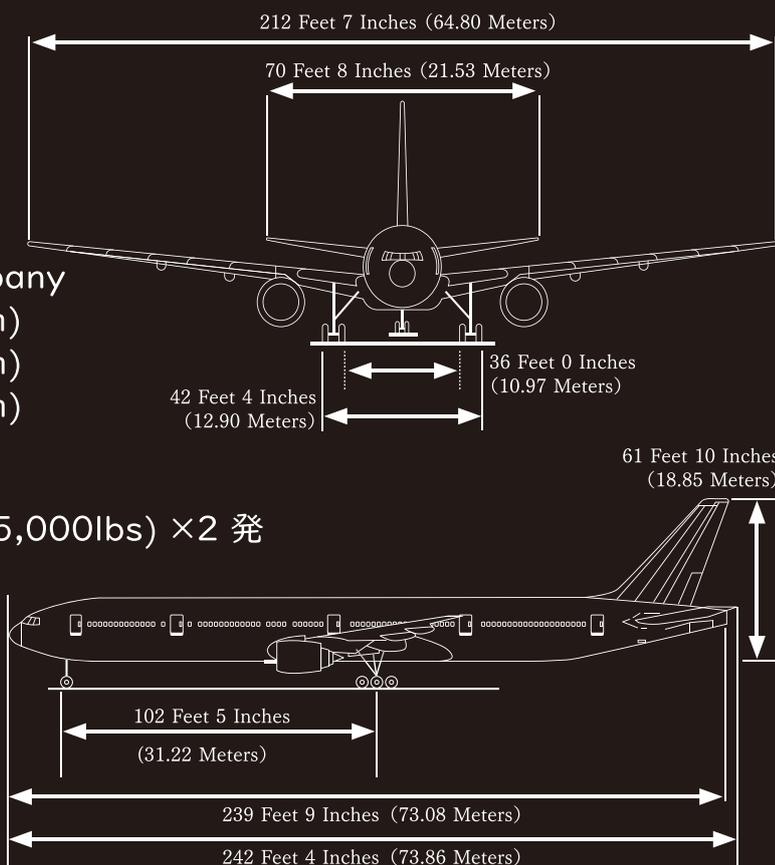


# 政府専用機の主要諸元

SPECIFICATIONS

Type of aircraft : B777-300ER  
 Popular Name : 政府専用機  
 Service : 航空自衛隊  
 Company : The Boeing Company  
 Principal dimensions : Width 64.80 (m)  
 Length 73.86 (m)  
 Height 18.85 (m)

Engine Description : GE90-115BL  
 Thrust : 約 52,000 kg(115,000lbs) ×2 発  
 Max take-off Weight : 775,000 (lbs)  
 Max landing Weight : 554,000 (lbs)  
 Speed : 約 900 (km/h)  
 Range : 約 14,000 km



# 寄港地

任務運航 375 回 訪問国 101 カ国  
(2023.1.1 現在)

ヨーロッパ拡大図  
Enlarget Map of Europe



## 北欧拡大図

Enlarged Map of the North America



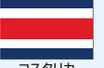
アメリカ  
United States of America



カナダ  
Canada



エルサルバドル  
El Salvador



コスタリカ  
Costa Rica



ジャマイカ  
Jamaica



ドミニカ共和国  
Dominican



パナマ  
Panama



メキシコ  
Mexico



アルゼンチン  
Argentina



チリ  
Chile



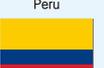
ブラジル  
Brazil



ベネズエラ  
Venezuela



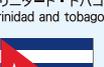
ペルー  
Peru



コロンビア  
Colombia



トリニダード・トバゴ  
Trinidad and tobago



キューバ  
Cuba



パラグアイ  
Paraguay



ウルグアイ  
Uruguay

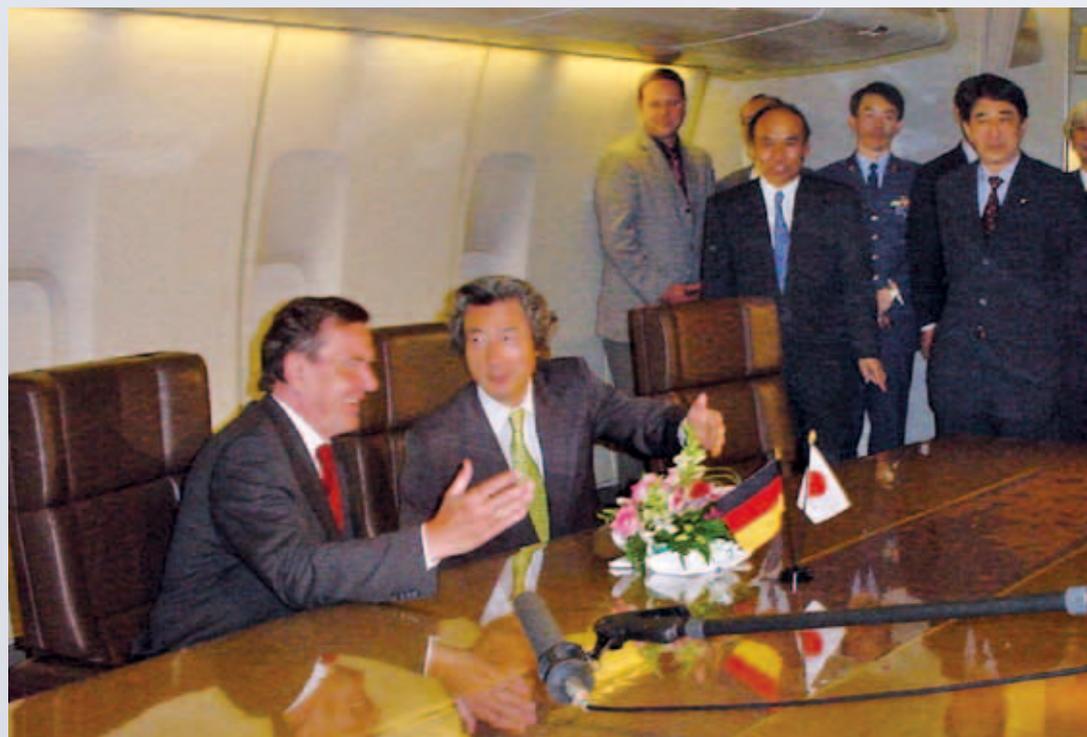
-  韓国  
South Korea
-  北朝鮮  
North Korea
-  中国  
China
-  フィリピン  
Philippines
-  ブルネイ  
Brunei
-  ベトナム  
Viet Nam
-  マレーシア  
Malaysia
-  モンゴル  
Mongolian

-  ホノルル  
Honolulu
-  カイルア  
Kailua
-  ヒロ  
Hilo

-  ポートモレスビー  
Port Moresby
-  ウェアズ  
Cairns
-  ブリスベン  
Brisbane
-  シドニー  
Sydney
-  キンズバラ  
Canberra
-  オークランド  
Auckland
-  クライストチャーチ  
Christchurch

-  オーストラリア  
Australia
-  ニュージーランド  
New Zealand
-  パプアニューギニア  
Papua New Guinea
-  フィジー  
Fiji

# 国賓等の輸送



小泉総理カナダスミス・サミット出席運航  
平成14年6月



野田総理 APEC 出席運航  
平成23年11月





岸田総理 COP26 出席運航  
令和3年11月



菅総理 G7 サミット出席運航  
令和3年7月

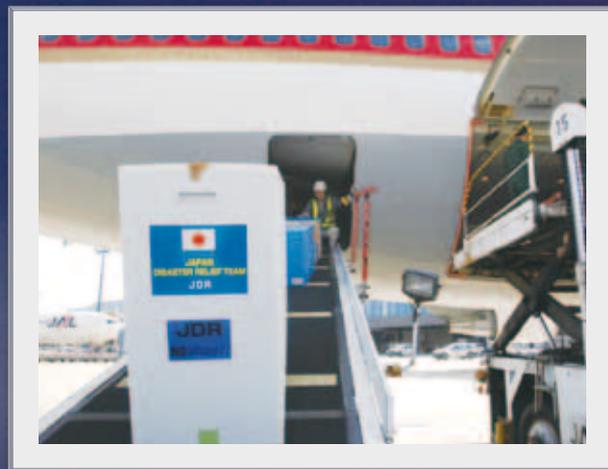
## 国際緊急援助活動

### OPERATIONS FOR INTERNATIONAL DISASTER RELIEF

パキスタン等大地震における国際緊急援助活動のため政府専用機に搭乗する派遣隊員  
平成17年10月 千歳基地



ニュージーランド大地震における国際緊急援助活動実施のための支援物資の積み込み  
平成23年2月 新東京国際空港（成田）



## 国際平和協力業務

### ACTIVITIES FOR PEACE KEEPING OPERATIONS



イラク難民救援（PKO）のための支援物資の取り卸し  
平成15年3月  
クイーンアリア国際空港（ヨルダン）



ハイチ大地震における国際平和協力活動のため政府専用機から降機する派遣隊員  
平成22年2月  
マイアミ国際空港（アメリカ合衆国）

# イラク人道復興支援特別措置法に基づく輸送

## TRANSPORTATIONS FOR IRAQ FREEDOM

航空機への搭乗時に小泉総理に見送られる派遣隊員  
平成16年5月 千歳基地

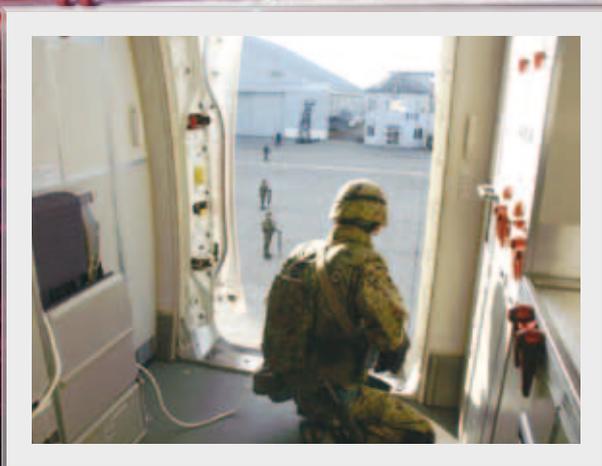


クウェートでの任務を終え見送られる派遣隊員  
平成20年12月  
クウェート国際空港



# 在外邦人等の輸送

## TRANSPORTATIONS OF OVERSEAS JAPANESE



航空機の中から周囲の警戒を行う陸自隊員  
(訓練風景)  
平成15年11月 千歳基地



航空機内で打ち合わせをする搭乗員  
令和3年8月  
イスラマバード国際空港 (パキスタン)

# 政府専用機乗組員及び支援要員の紹介



航空機の操縦業務を行う。



第701飛行隊第1飛行班 2012年入隊 航学68期

## - 特別航空輸送隊を志願した理由

世界で活躍する政府専用機のパイロットの存在を知り、憧れを抱いたためです。政府専用機でしかできない海外での国賓等の輸送業務に携わり、外交の一翼を担いたいと思ったからです。

## - やりがいを感じる時はいつ

国賓等を安全かつ確実、そして快適に目的地へ輸送することは基より、要人の予定に影響を与えないように定時で運航を完遂できた時には、改めて自分の重責を自覚するとともに、達成感と感動を覚えます。

## - 今までで一番印象が強いことは何

初任務運航で内閣総理大臣を輸送したときです。失敗が許されないという緊張感の中で、安全かつ確実な任務を完遂できたこと、クルーと協力しながら困難を乗り越えたことです。

## - 今後の目標

最終的にあらゆる任務に対して冷静かつ的確に対処できる機長になることです。まずは副操縦士としてさらなる専門知識の習得、フライト経験を重ね、仲間から信頼される操縦士を目指します。

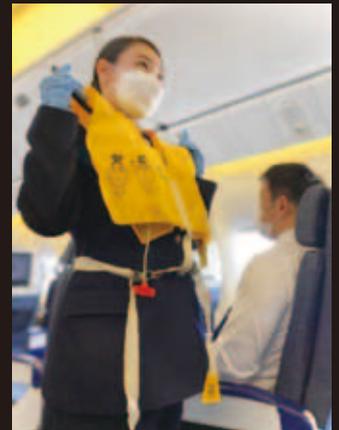




## ロードマスター

### LOADMASTER OFFICER / LOADMASTER

乗客の接遇、荷物搭載卸下、航空機の重量重心位置の管理、緊急事態発生時の搭乗者の安全確保の業務を行う。



第701飛行隊第2飛行班 2019年入隊 補生13期

#### - 特別航空輸送隊を志願した理由

自衛隊に転職する際に特別航空輸送隊の存在を知り、任務の内容にやり甲斐と魅力を感じチャレンジしたいと思いました。

#### - やりがいを感じる時はいつ

要人等を安全に運ぶ任務を遂行するための準備や、快適な時間を提供するための気配りなど、業務の内容全てにやりがいを感じます。

#### - 今までで一番印象が強いことは何

初めて政府専用機の機体や機内の様子を見た時の感動は今でも忘れられません。これからとても崇高な任務に就くということを再認識し、身の引き締まる思いがしました。

#### - 今後の目標

安全面やサービス面についての知識並びに対応力を日々向上させること。また、乗組員の一人として最後まで安全運航に寄与することです。

# 政府専用機乗組員及び支援要員の紹介



**ナビゲーター**  
NAVIGATOR

飛行ルートを選定、搭載燃料、計画定時性確保のための操縦士への速度及び高度選定の助言を行う。



**レディオ**  
RADIO OPERATOR

衛星通信をはじめとする各種無線通信業務及び運航に係る必要な情報の入手や発信を行う。



第701飛行隊第1飛行班 2006年入隊 航学62期



## - 特別航空輸送隊を志願した理由

自衛隊でも数少ない国賓等の輸送任務を遂行する部隊である特別航空輸送隊に魅力を感じ、航法幹部として航空自衛隊の実力を世界に示す一助になれたらと思います。

## - やりがいを感じる時はいつ

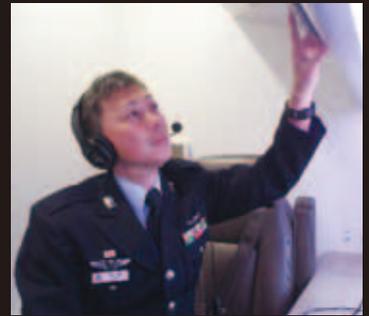
自分が運航に携わった任務の映像や写真をニュース等で見たとき、国賓等を安全に送り届けることができたという思いとともに、航空自衛隊の存在を世界に発信することができたという達成感を感じます。

## - 今までで一番印象が強いことは何

アラスカ周辺を夜間飛行していた際、空一面にオーロラが揺らめいていたのを見たとき、世界中を飛び回る我々の任務のスケールの大きさを実感しました。

## - 今後の目標

世界中のあらゆる情報を収集分析、総合的な判断をし、安全性、快適性、定時性をとことんまで追求することで国賓等の輸送に最善を尽くします。



第701飛行隊第1飛行班 1988年入隊 曹候13期

## - 特別航空輸送隊を志願した理由

最新技術が用いられた他では経験できない航空通信業務に携わり、日本国としての輸送任務に少しでも貢献できればという思いからです。

## - やりがいを感じる時はいつ

我々は飛行中及び地上において航空管制通信以外の通信業務を担っていますが、通信の対象は搭乗中のお客様から運航クルー、地上支援要員など多岐に渡ります。それらの方々が必要な時に必要な通信を迅速、確実そして安全（保全）にお届けすることができたとき、輸送任務に携わる通信担当者として一番のやりがいを感じます。

## - 今までで一番印象が強いことは何

2022年、予備機要員として総理のカンボジア、インドネシア、タイ訪問に参加しましたが、この運航は予備機がマレーシアで待機し任務機の出発に合わせて当該国に赴くというとても珍しいものでした。私もこのような運航は初めてであり、任務機の代替機である予備機の通信を万全にしておかなければならないと、いつも以上に緊張して点検や操作を行ったことを覚えています。

## - 今後の目標

通信技術の進歩は目覚ましくICT等の知識も不可欠です。専用機通信サービス向上のためスキルアップに努めていきます。



隊本部総務人事班 2017年入隊 補生14期



**ディスパッチャー**  
DISPATCHER

飛行計画の作成、操縦者に対する運航のブリーフィング、運航情報の把握及び運航に影響を及ぼすおそれのある情報の収集・通報並びに不測事態発生時の所要の処置等を行う。



**総務係員**  
GENERAL AFFAIRS

部隊が円滑に任務を遂行できるよう計画の立案や各部署との調整等を行う。

第701飛行隊第1飛行班 2001年入隊 部内98期



- 特別航空輸送隊を志願した理由

航空機の運航管理と、国外での政府専用機の運航支援という、これまでに体験したことのない業務に挑戦したかったため。

- やりがいを感じる時はいつ

運航支援隊として派遣された先で、日本とは違う文化に触れながら受け入れ準備をしている時と、実際に政府専用機が調整したとおりに到着、出発できた時には、外交の一翼を担えているという充実感を感じます。

- 今までで一番印象が強いことは何

国外の派遣先で見る風景やその土地でしか食べることの出来ない美味しい郷土料理を食べることが、良い思い出となっています。

- 今後の目標

政府専用機の安全性と定時性に貢献するため、操縦士に対する気象情報と航空情報の適時適切な提供に努めるとともに、後進育成に励みたいと思っています。

隊本部装備班 2010年入隊 補生5期



**補給員**  
SUPPLY

部隊で使用される全ての物品を整理・保管し要求に応じて出荷する業務を行う。



航空機の整備業務を行う。

整備隊 整備班（油圧整備員）2003年入隊 一般空曹候補学生28期



### - 特別航空輸送隊を志願した理由

幼い頃から飛行機が大好きで、将来は飛行機に関わる仕事に就きたいと思い高校卒業後に航空自衛隊へ入隊しました。そして、大きな飛行機を整備することで、海外にも活動の場を広げる航空自衛隊の任務遂行の一躍を担いたいと考え、特別航空輸送隊を希望しました。

### - やりがいを感じる時はいつ

防衛の最前線から外交の最前線に変わり、世界中を舞台に飛行機の仕事に関われるので、他の部隊では経験できない緊張感と責任の重さを感じますその分無事に任務を遂行できた時の達成感は格別なものがあります。

### - 今までで一番印象が強いことは何

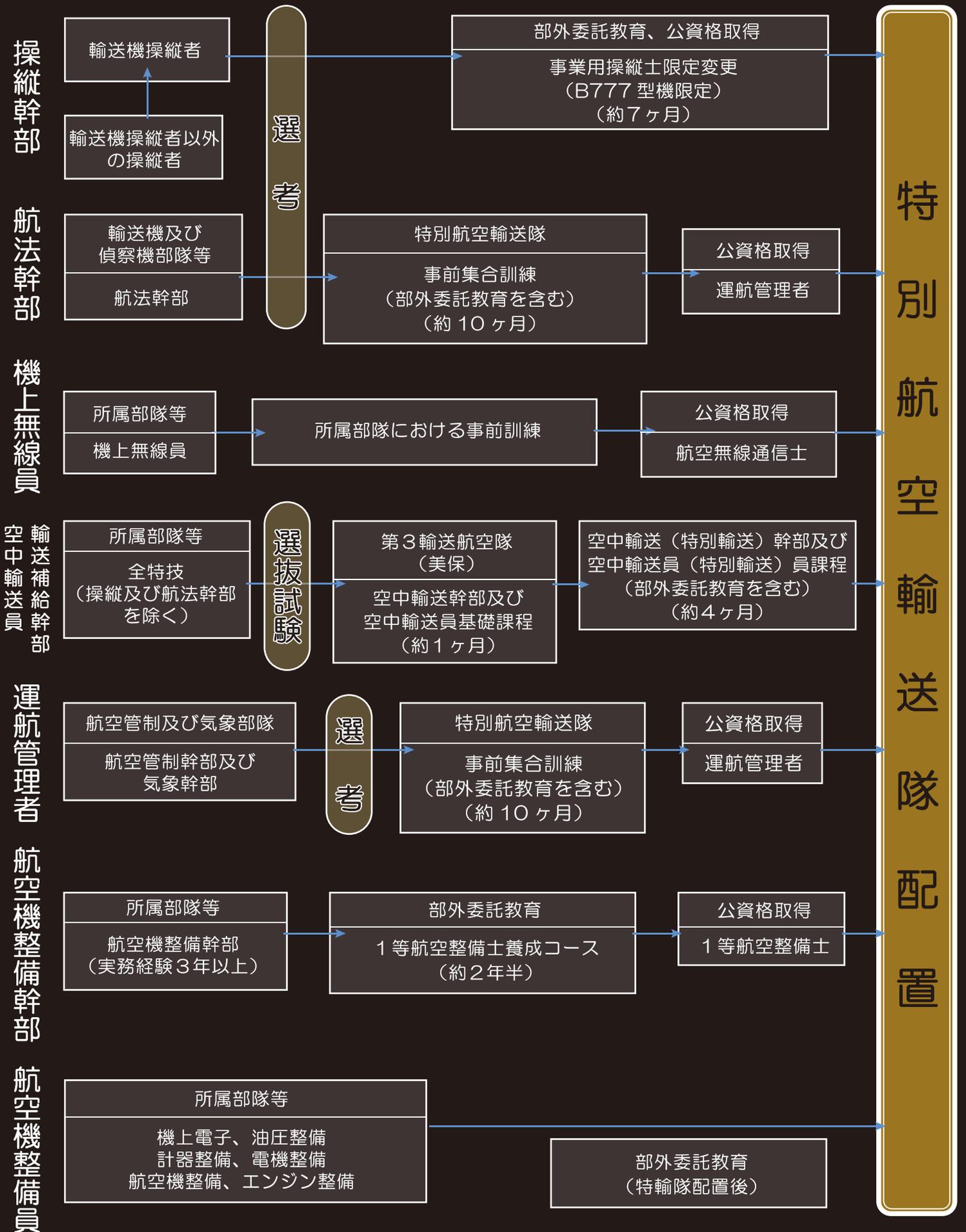
現政府専用機（B777-300ER）の1号機の機付として4年間勤めさせていただいたことです。常に機体の状態を常管理し、最高の状態に維持するのは大変なことでしたが、とてもやり甲斐があり良い経験ができました。

### - 今今後の目標

政府専用機では当たり前とされている安全・快適・定時の運航ですが、航空機の世界でこれらを継続することは並大抵のことではありません。整備員として、より品質の高い航空機を提供し任務を遂行できるよう日々整備に励み、政府専用機の当たり前の運航の継続に尽力したいと思います。

# 政府専用機乗組員への道

## ROAD MAP



JAPAN  日本国

撮影協力 / Ken GOSHIMA  
Shinya ABE  
Yusuke ISHIZU

SAG

JASDF



by SAG 2023 Printed in Japan